

1. はじめに

最近の推進工事は長距離推進および曲線推進工事など工法、技術的に多様な角度から検討されています。工事開始とともに敷設管および地山間に発生する摩擦抵抗をいかに減少させるかが重要な課題です。

テルハーデンΣは、摩擦減少効果の大きい2液型可塑剤で、安定した地盤で締め付けのない地層を掘進する場合に使用をお勧めします。

また、可塑剤圧送用の配管径が細い小口径推進現場の場合にも使用が可能です。

テルハーデンΣはゲルの安定性をさらに増して、敷設管と地山とのクリアランスの保持効果を高めておりますので、砂礫層などの不安定地盤、地下水等の滞水層や締め付けのある地層、曲線推進の場合、大口径推進現場などの推進工事に適しています。

2. 特長

- * 2液型可塑剤で地山および敷設管との摩擦抵抗が減少します。
- * 崩壊防止の効果があり、地山の締め付けを抑えることができます。
- * 地下水の多い地盤では止水剤にも効果を発揮します。
- * 作液、取扱い等作業性に優れています。

3. 用途

- * 2液型推進工事前用摩擦減少剤として使用します。
- * 推進工法用止水剤・地盤沈下防止剤として使用します。
- * 砂・礫層の止水剤として効果を発揮します。
- * テルハーデンΣとともに推進工法用滑材トリリーC 又はトリリーCP を注入すると更に減摩効果が期待できます。

4. 材料の性状と梱包形態

構成材料	A 剤	B 剤
外 観	無色透明液体	淡黄白色粉末
比 重	1.35~1.45	2.2~2.5
粘 性	⁽¹⁾ 26mPa・s(±5)	⁽²⁾ 27mPa・s(±5)
pH	⁽¹⁾ 11.0~13.0	⁽²⁾ 7.5~8.5
荷 姿	一斗缶	紙パッカー袋
内 容 量	18L(25kg)	25kg

(1)製品 (2)標準配合で溶解後の値

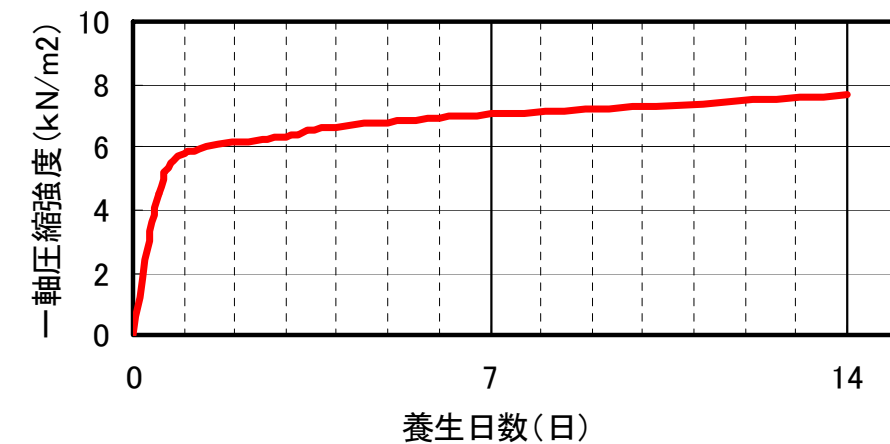
5. 配合表

A 液 (200L)	B 液 (200L)
A 剤 2缶 (50kg)	B 剤 1袋 (25kg)
清 水 164L	清 水 190L
出来上がり量 400L	

6. 使用手順

- ①タンクは2槽タンクを用意し、A液とB液をそれぞれ作液します。
- ②A液の作液
A剤 2缶をA液タンクに投入し、攪拌しながら164L 清水を加えて200L とします。
ゲルの安定性をあげたい場合は、A剤 3缶をタンクに投入し、146L 清水を加えて200L とします。
- ③B液の作液
清水192Lを用意します。攪拌しながら清水に1袋(25kg)を添加し、溶解します。攪拌は5分間以上行ってください。注入するまで時間があるときはミキサーを継続攪拌してください。
- ④溶解したA液とB液は別々に圧送してください。圧送中はミキサーを止めないでください。

7. 一軸圧縮強度



8. ゲルタイム

温 度	ゲルタイム
10℃	33~47 秒
20℃	23~37 秒
30℃	16~30 秒

9. 注意事項

- * A剤はアルカリ性液体のため、眼や口に入らないよう取扱いに充分注意してください。
保護メガネやマスク等を使用してください。
- * B剤は紙袋梱包のため、水濡れ等に注意して保管してください。
- * A液とB液は別々に圧送し、注入直前に混合してください。
- * B液圧送中は攪拌ミキサーを止めないでください。

テルハーデン^{シグマ}Σ

(特殊2液型可塑剤)

このカタログに記載しました技術的データ等は、弊社の技術研究所において細心の注意を払って試験を行った資料に基づくものですが、実際の実験装置による結果を保証するものではありません。

株式会社テルナイト

- 本 社 : 東京都千代田区神田神保町3丁目29番地
共同ビル神保町3丁目2階
TEL 03-5843-0009 FAX 03-3221-5069
- 東京技術センター: 埼玉県吉川市木売3丁目6番
TEL 048(983)3482 FAX 048(984)1851
- 西日本営業所 : 大阪市淀川区宮原5丁目1番18号
新大阪サンアールセンタービル
TEL 06(6397)5249 FAX 06(6397)9681

代理店



株式会社 テルナイト